



令和4年10月11日

市政記者クラブ 様

- 調査テーマに関すること：
総務局市立大学部市立大学室
担当：田中・吉兼（972-2192）
- 調査概要に関すること：
スポーツ市民局市民生活部広聴課
担当：小川・月足（972-3138）

令和4年度第5回ネット・モニターアンケートの調査結果について

令和4年度第5回ネット・モニターアンケートの結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 調査テーマ：名古屋市立大学について

名古屋市立大学は1950年に発足し、現在7学部7研究科を有する公立の都市型総合大学であり、平成18年4月に公立大学法人化（地方独立行政法人化）され、自主的な大学運営を行っています。

このアンケートは、名古屋市立大学に関する市民の皆さまのご意見をうかがい、令和6年度からの新たな中期目標を立てる上での参考とさせていただくものです。

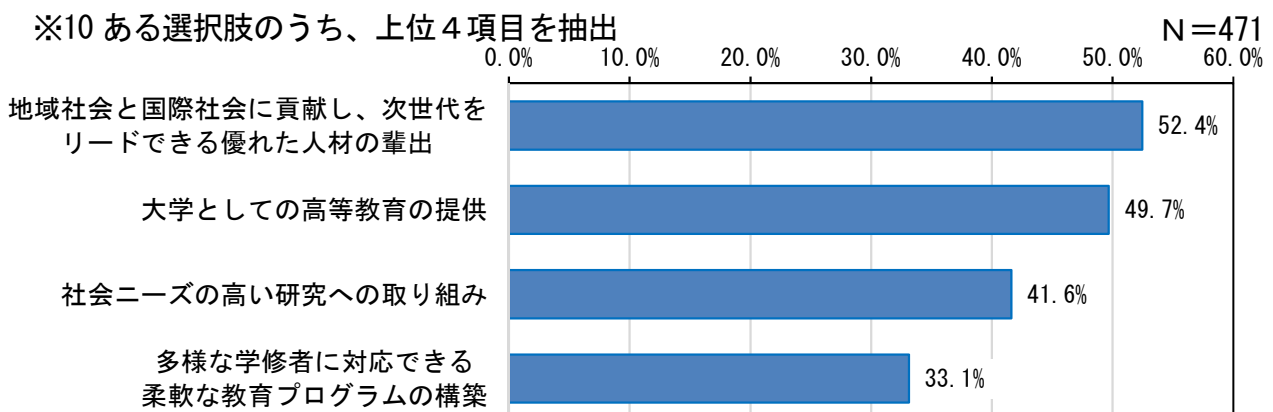
2 調査結果（抜粋）

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

■ 名古屋市立大学が行う教育・研究に関する取り組みで力を入ると良いと思うのは「地域社会と国際社会に貢献し、次世代をリードできる優れた人材の輩出」と「大学としての高等教育の提供」が約5割（Q4）

名古屋市立大学が行う教育・研究に関する取り組みにおいて、何に力を入ると良いと思うかたずねたところ、「地域社会と国際社会に貢献し、次世代をリードできる優れた人材の輩出」52.4%と「大学としての高等教育の提供」49.7%が約5割で多く、次いで「社会ニーズの高い研究への取り組み」41.6%、「多様な学修者に対応できる柔軟な教育プログラムの構築」33.1%の順でした。

※10ある選択肢のうち、上位4項目を抽出



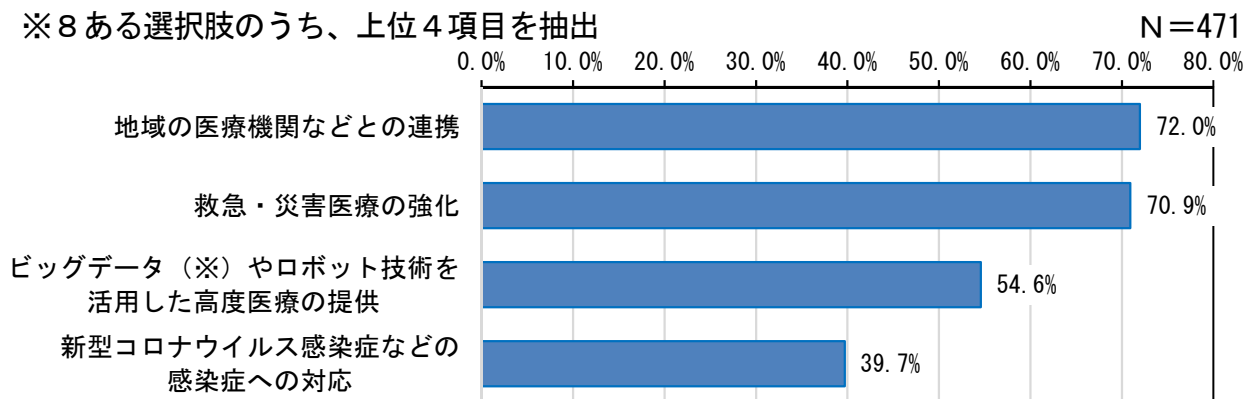
■ 名古屋市立大学が行う社会貢献に関する取り組みで力を入れると良いと思うのは「市民公開講座など市民が学ぶことのできる機会の提供」が約6割（Q5）

名古屋市立大学が行う社会貢献に関する取り組みにおいて、何に力を入れると良いと思うかたずねたところ、「市民公開講座など市民が学ぶことのできる機会の提供」と答えた人が59.9%で最も多く、次いで「健康・福祉の向上やまちづくり等の地域と連携した社会貢献活動の実施」51.8%、「施設（図書館、食堂、教室等）の地域開放」50.1%の順でした。

■ 名古屋市立大学が行う附属病院に関する取り組みで力を入れると良いと思うのは「地域の医療機関などとの連携」と「救急・災害医療の強化」が約7割（Q6）

名古屋市立大学が行う附属病院に関する取り組みにおいて、何に力を入れると良いと思うかたずねたところ、「地域の医療機関などとの連携」72.0%と「救急・災害医療の強化」70.9%が約7割で多く、次いで「ビッグデータ（※）やロボット技術を活用した高度医療の提供」54.6%、「新型コロナウイルス感染症などの感染症への対応」39.7%でした。

※8ある選択肢のうち、上位4項目を抽出



※ビッグデータ：ボリュームが膨大でかつ構造が複雑であるが、そのデータ間の関係性などを分析することで新たな価値を生み出す可能性のあるデータ群のこと。

※詳細は、本市公式ウェブサイト（トップページ＞市政情報＞広報・広聴＞ネット・モニターアンケート＞令和4年度第5回ネット・モニターアンケート（調査結果））からご覧いただけます。

<https://www.city.nagoya.jp/sportsshimin/page/0000156668.html>



3 調査概要

(1) ネット・モニターアンケート

500人の市民モニターを公募し、インターネットを活用した調査を実施するもので、今回は令和4年度の第5回目のアンケートです。

(2) 調査期間

令和4年9月16日（金）～9月26日（月）

(3) 調査方法

- ・対象：市内在住の18歳以上の方で、市政に関心のある方(公募)
- ・人数：500人
- ・調査方法：インターネットを通じてアンケートに回答
- ・回収率：調査対象500人に対して有効回収数 471人
有効回収率 94.2%
- ・質問数：質問8問